

小型発電機 (～10kVA)

インバーター型



IEG900M



GA2000SSM



YDG200VS

エンジンタイプ	ガソリン	ガソリン	ガソリン	ガソリン	ガソリン	ディーゼル
騒音指定	超低騒音	防音	低騒音	超低騒音	超低騒音	超低騒音
クラス呼称	100V	100V	100V	100V	100V	100V
メーカー	新ダイワ	デンヨー	北越	新ダイワ	デンヨー	ヤンマー
型式	IEG900M	GA2000SSM	HP2300C	EG25M	GE2800SS	YDG200VS
交流発電機	周波数 Hz	60	60	60	60	60
	出力 kVA	0.9	2.0	2.3	2.5	2.8
	電圧 V	100	100	100	100	100
	電流 A	9	20	23	25	28
エンジン名称	ヤマハ MZ50	ヤマハ MZ175	ホンダ GX160K1	ヤンマー GA160RDGS	富士重工業 EX21	—
使用燃料	レギュラーガソリン	レギュラーガソリン	レギュラーガソリン	レギュラーガソリン	レギュラーガソリン	軽油
定格出力 kW/min	1.2	3.31	3.06	3.2	3.7	3.8
燃料タンク容量 ℓ	2.5	10	9.2	10	15	15
燃料消費量 L/h	0.6	1.11	1.29	—	—	—
寸法	全長 mm	450	672	440	667	537
	全幅 mm	240	462	400	444	482
	全高 mm	380	584	495	566	583
乾燥質量 kg	12.7	84	30	68	59	131
音響パワーレベル LwA	86	—	95	—	85	—

● 小型発電機の使用例



■ 使用機器に必要な発電機容量

1. 発電機容量は、使用機器の諸条件により大きく左右されます。
2. 使用機器には「定常運転時」と「始動時」とで、必要な発電機容量の違うものがあります。
「定常運転時」とは、例えば 5kW の水中ポンプが 5kW の仕事をしている状態を、また「始動時」とは、水中ポンプが最初に始動する状態をいいます。
3. 各機器を使用するのに必要な発電機容量の目安となる算出方法については、次の算出方法を参照ください。

$$\text{発電機容量 (kW)} = \text{定格消費電力 (kW)} \times \text{係数}$$

負荷の種類別係数

使用負荷の種類	係数	定常時	始動時
白熱灯・電気機器等 (抵抗負荷)		約 1	約 1
蛍光灯・水銀灯 (ハロゲン負荷)	1.2 ~ 1.8		2.0 ~ 3.0
ドリル・サンダー等の電動工具 (交流整流子電動機)	1.2 ~ 1.4		1.5 ~ 2.0
水中ポンプ・コンプレッサ等 (誘導電動機)	1.5 ~ 3.0		3.0 ~ 4.5

使用負荷の例 (60Hz)

使用負荷	係数	1.5kW	2.0kW	2.4kW	2.5kW	3.0kW
電球 W×個		100×15	100×20	100×25	100×25	100×30
メタルハライドランプ W×台		400×3	400×3	400×4	400×4	400×6
電気ジグソー W×台		300×4	300×5	300×6	300×6	400×6
電気ドリル W×台		400×3	400×4	400×5	400×5	400×6
送排風機 W×台		350×2	400×2	400×2	400×2	500×3
水中ポンプ W×台		480×1	480×2	480×2	480×2	480×3
コンプレッサ W×台		200×2	400×1	400×2	400×2	750×1
パイプレータ W×台		350×1	350×2	350×3	350×3	350×3

※電気機器は機種により入力電力に違いがありますので、確認の上で使用ください。台数は目安であり「順次始動」のできる台数です。